



進路、地域、PTA だより

かけはし No. 11

発行：令和7年2月21日
横浜市立左近山特別支援学校
進路、地域、PTA 部

PTA

2月20日(木)より PTA 臨時総会を行っています。「すぐーるアンケート」へのご回答をお願いいたします。総会結果につきましては、2月28日(金)に配信予定です。

さて、今年度の卒業式も、小学部・中学部と、高等部に分かれて行われます。それぞれの卒業式には、PTA 代表にご臨席いただきお祝いの言葉を頂戴いたします。卒業式では、PTA より卒業生へのお祝いとして、今年度もコサージュと証書ホルダーが贈られます。

市P連関係では、2月14日(金)に、第4回理事会が行われました。本校で取りまとめて提出した市教委への要望書に対する回答の冊子が配布され、市教委より説明がありました。本校からは小学部4年生の2名の方に参加していただきました。回答につきましては、本校分を「すぐーる」にてPTA 会員の皆様宛に配信いたしましたのでご確認ください。

保護者証について

高等部3学年の保護者の皆様、保護者証を卒業式の際にご返却いただきますので、当日ご持参をお願いいたします。

高等部2学年福祉事業所体験実習

高等部2学年は、福祉事業所1日体験実習を実施しました。次年度の実習につながる体験ができたのではないのでしょうか。

こうなんひまわりアートてん2025

アートてんは、港南区役所1階区民ホールで、前期1月29日(水)～2月12日(水)、後期2月14日(金)～3月3日(月)に障害のある方が作った様々な作品を展示しています。本校の児童生徒も含めて、学校や訓練会など子どもたちの作った作品は、後期に展示されています。小学部・中学部はそれぞれのグループやクラスで作った集団作品、高等部は職業で作成した製品を展示しています。



裏面があります

戸塚区自立支援協議会 第2回全体会

1月29日(水)に戸塚区役所で、戸塚区自立支援協議会 第2回全体会が開かれました。全体会では、まず、自立支援協議会の相談部会、児童部会などから、それぞれの部会の活動の様子が報告されました。

次に、『地域福祉保健計画について』、とつかハートプラン(『地域福祉保健計画』)の概要等について戸塚区役所福祉保健課事業企画担当者、基幹相談支援センターの相談員より次の説明がありました。

①第4期が令和7年度で終わり、現在、第5期計画を作成中です。(戸塚区だけでなく、横浜市の全区で取り組まれています。第4期計画の冊子は、何冊か保護者控室にありますので、ご覧ください。旭区の冊子には、左近山地区のページに本校も載っています。)

②戸塚区では、「おもいあい」をキーワードに地域社会に存在するすべての存在が、支援する側される側の隔てなく互いを尊重し受け入れ合える土壌づくりとその土壌に基づいた取組の展開を図れるように、計画を立てているとのこと。福祉サービス事業所も計画の中に入っていると、広報誌にも載り、地域に入りやすくなるのではということでした。

③各地区の取組の中で、基幹相談支援センターがとつかハートプランの小委員会に参加している地区の紹介がありました。最初は、障害当事者が参加者としてウォークラリーに参加していましたが、小委員会から基幹相談支援センターへ声がかかり、R6年のイベント当日に当事者がボランティアスタッフとして参加し活躍したとのこと。

説明を受けて、近い事業所が集まってグループワークをしました。本校特別支援教育コーディネーターが参加したグループでは、「いろいろな人がごちゃまぜで居られることのできる居場所があると良い。」「土日は、事業所は休みだから、空いている場所を地域活動に使ってもらえたら良い。」「そのときに自主製品を買ってもらえると良い。」「地域のイベントに積極的に参加しよう。」などの意見が出ました。

港南区自立支援協議会重心家族会～サンフラワーあったかいね♡～

3月4日(火) 10:30～12:00 そよかぜの家3階にて、1年の振り返りと来年の活動について行います。実際に日野サザンポート(特別養護老人ホーム)の入浴施設を利用して入浴したことや、ショートステイの利用が可能なひとりざわ(介護老人保健施設)の見学の様子を保護者の方からお話しいたします。

来年度は、こんな施設を見学してみたい、こんな話を聞きたいというご希望をぜひ、おうかがいさせていただきます。そよかぜの家でお待ちしております。当日の参加は難しいけれど、ご希望をお伝えいただける方は、特別支援教育コーディネーター橋本へ3月3日(月)までにお知らせください。

「世界ダウン症」の日

3月21日は、国連が定めた「世界ダウン症の日」です。ダウン症は21番目の染色体が3本あることから3月21日に定められました。全国各地でダウン症啓発のためのイベントや行事が行われます。詳細は「世界ダウン症の日公式サイト」をご覧ください。